

第4回 杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会会議録

会 議 名	第4回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会
日 時	令和4年12月7日（水）午後2時00分～午後4時00分
場 所	西宮中学校 2階多目的室
出 席 者	懇談会委員16名（欠席12名）
傍 聴 者	2名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設見学の振り返りについて 2 第2回・第3回での主な意見等について 3 学校・図書館複合化により期待される教育効果等について 4 複合化等について 5 配置計画スタディについて
資 料	<p>資料1 第2回懇談会での主な意見等について</p> <p>資料2 第3回懇談会での主な意見等について</p> <p>資料3 学校・図書館複合化により期待される教育効果等について</p> <p>資料4 複合化について</p> <p>資料5 配置計画スタディ</p> <p>参考資料1 施設見学レポート</p> <p>参考資料2 施設再編整備の必要性について</p>

進行役	<p>それではただいまより、第4回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会を開催します。</p> <p>本日はお忙しい中、当懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の懇談会ですが2時間程度です。今は2時ですから、4時ぐらいまでを予定しておりますので、進行についてご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本懇談会を傍聴したいということでご出席されている方もいらっしゃいます。基本的にはそれを認めることとしておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、傍聴の方はご発言できませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>
-----	---

	<p>それでは、配付資料の確認等を事務局からお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>(配布資料の確認)</p> <p>最後に、本日直前体調不良でご欠席の委員の方から配付してほしいということで、配付した資料が「オランダにおける公共図書館の空間について」が1枚、「北ヨーロッパにおける公共図書館の意義と役割について」という冊子がございます。こちらは、配付の趣旨についてメッセージを頂いておりますので、そちらを簡単にご紹介したいと思います。</p> <p>図書館が本を読むだけの静かな空間というイメージは、21世紀の図書館としては払拭していただきたく、探求し、集い、刺激を受け、対話し、創作する知の空間として考えていただきたい。学校教育の情報教育等とともに、一般の区民の方にも利用可能なように考えていただきたいと思っております。</p> <p>21世紀は図書館のDX化（デジタル化）、学校図書館のDX化、そしてリアルでも持ち寄り、集い、創作して、分け合う知の空間としてつくることが求められていると思いますということで、参考にさせていただきたいということで配付させていただきました。</p>
<p>進行役</p>	<p>次第に入る前に、今回初めてご出席される委員の方がいらっしゃいますので、一言自己紹介をいただきたいと思っております。</p> <p>(委員自己紹介)</p>
<p>進行役</p>	<p>それでは、次第に従いまして進めます。次第1から次第3まで、一括して事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>前回第3回では施設見学といたしまして北区立浮間中学校、浮間図書館、それから区内の高井戸中学校、高井戸図書館を見ていただきましたが、ご欠席の方もいらっしゃいました。ご欠席の方からも簡単に振り返りを共有してもらいたいとのご意見もございましたので、その辺りをさせていただきます。</p> <p>現地の状況は前面のモニターを御覧いただければと思いますが、同じものを参考資料1としてお配りしておりますので、併せて御覧いただければと思います。</p> <p>説明は前回もご紹介しました、今回の基本計画の策定支援ということで、基本計画策定支援事業者の方をお願いしております。そちらからご説明をお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
<p>基本計画策定 支援事業者</p>	<p>それでは、先日行いました見学会のご報告をいたします。</p> <p>先日見学した施設は、先ほどお話があったとおり、北区の浮間中学校と高井戸中学校の2校です。まず、浮間中学校についてご説明いたしま</p>

す。

北区の浮間中学校は、J R 埼京線浮間舟渡駅よりすぐの位置にある、2020年に竣工した新しい複合施設です。建物には中学校と公共図書館、児童館の3つが入っている複合施設です。細かい建築概要については御覧のとおりです。

こちらは、建物全体の平面図です。敷地の北側、赤い部分に校舎棟があり、西側に体育館、南側に校庭という配置です。北側の道路から中学校、図書館、児童館それぞれ別のエントランスが設けられています。中学校と、図書館・児童館が一緒になったエントランスです。水色の部分が中学校のエリアで、オレンジ色が公共図書館、ピンク色が児童館となっています。

こちらが校門と中学校の昇降口の様子です。

教室の配置は基本的に中廊下型で、赤い部分が普通教室、緑が特別教室、黄色が少人数教室、紫が学年ラウンジとなっていて、共用のオープンスペースとして使われています。これが基本的な校舎のプランです。

こちらは廊下と、階段の写真です。階段の脇に、先ほどお話ししたオープンスペースがあって、ここを情報共有の場として使っているとのことでした。左側が、そのラウンジの写真です。

右側は少人数教室です。普通教室の大きさで、半分に分けて使うことができる形でした。

あとは学校図書館が1階にありましたが、相互利用を目的として、1階の公共図書館の横に設置されていました。

その他の施設としては、屋上ビオトープで利用したりなどの工夫がありました。

あとは武道場や体育館です。武道場は区民開放施設として使われているとの話がありました。

こちらは運動場です。校庭は全体的に人工芝となっていて、200mのトラックを確保した、十分な広さの校庭でした。

続いて、浮間図書館のご説明をいたします。この図のオレンジの部分がいわゆる公共図書館で、黄色い部分が中学校とのセキュリティーラインです。ピンクの部分には、基本的に入出りできる扉が設置されています。

「さくら草ルーム」と書いている赤い部分が、当初から相互利用を目的として造られた多目的室で、図書館側からも利用できる、中学校側からも利用できる形を考えていたそうですが、現在はコロナの影響等で、

まだその辺の利用ができていない状況というお話でした。

こちらは図書館内の、書架の配置状況です。

続いて、学校図書館内の写真です。セキュリティーに関しては、学校図書館と公共図書館が隣接していて、右側の写真は扉1枚で、セキュリティーラインになっているということで、ここは常時施錠されていて、出入りができないようになっているとの話でした。

これは、公共図書館側から学校図書館を見た写真です。一応ガラスで仕切られていますが、閉鎖しているときはロールカーテンを下ろして、それぞれプライバシーが確保できるよう、干渉されないように運用しているとのことでした。

こちらは公共図書館の写真です。図書館部分は大体 570 m²程度で、コンパクトにまとめられている印象でした。

これは幼児向けコーナーの写真です。あとは一般図書。一部が中学校の廊下とつながっていて、それぞれの様子が分かるように造られています。

最後に行った施設管理者とのヒアリングの概要です。

主だったところで言うと、相互利用は生徒限定で、図書館側から学習室を時期によって開放しているという話がありました。

セキュリティーについては、先ほどの写真のとおり施錠関係、扉1枚にするだけなので、今のところ大きなトラブルにはなっていないとの話でした。

気になる騒音等も、現在のところはまだ大きな問題になっていないとの話がございました。

続いて、高井戸中学校についてご説明いたします。

高井戸中学校は1997年に竣工した、図書館と中学校の複合施設です。概要は御覧のとおりです。

こちらは図書館部分の平面図です。図書館は地上2階、地下1階建ての建物で、1階が一般図書、2階が児童図書と多目的室、地下は書庫となっています。

図面のオレンジ色の部分がセキュリティーになっていて、1階に扉等はなく、2階に扉が1枚だけあって、ここがセキュリティーラインです。赤い枠は図書館の多目的室です。

こちらは学校図書館の写真です。右側の写真は分かりづらいですが、時計の下に扉があって、こちらで高井戸図書館につながっています。学校図書館の大きさは、普通教室の倍ぐらいということで、ちょっと狭い

	<p>との話もありましたが、調べ学習の授業や、夏休み・放課後の貸出し、自習等で利用しているとのことでした。</p> <p>これが、公共図書館から学校図書館への出入口の写真です。左側がちょうど出入口の部分ですが、通常は扉を閉めていて、積極的に学校図書館と公共図書館が連携して、開放して利用しているとのことでした。</p> <p>セキュリティに関しては、基本的には時間帯に応じて教師や司書が見守りをしているとのこと、大きなトラブルにはなっていないとの話でした。</p> <p>右側が多目的室の写真です。こちらで相互利用をされて、中学校側からの利用、図書館側からの利用、協働で使ったりということが頻繁に行われているということです。</p> <p>こちらは公共図書館内の様子です。地下は書庫になっており、常に温度と湿度が管理されている状況の施設がついていること、あと消防設備も、書籍を守るために二酸化炭素の消火設備が設けられています。</p> <p>浮間中学校と同様に、施設管理者のヒアリングの概略をまとめたものになります。</p> <p>浮間中学校と異なる点は、学校図書館自体を授業で積極的に利用しているという話があったこと。あとは併設によって、協働でイベントを行うことがある。学校図書館と公共図書館の司書同士のコミュニケーションが取れているようで、いろいろな話し合いをして、イベントをされているという話を聞きました。</p> <p>そういうことを生かして、地域のコミュニティの場として活用しているとの話を伺うことができました。</p> <p>施設の見学会の報告は以上です。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>続いて、資料1「第2回懇談会の主な意見等について」を御覧ください。前々回は改築基本方針のたたき台と、区の内部検討で行っていた配置スタディの1回目が主な議題でした。</p> <p>主なところを紹介すると、改築基本方針のたたき台は、図書館の宮前図書館らしさも入れてほしい、学校施設の多様なスペースが必要との意見、地域コミュニティの拠点になる施設として、しっかりしたものを具体化してほしい。</p> <p>それから、図書館と学校とのセキュリティの確保をしっかりやっていく必要がある。中学校の、地域の図書館を居場所としている不登校の子などもいるので、そういったことも忘れてほしくないというご意見も頂きました。</p>

	<p>配置のスタディについては、校舎の配置等が変わる場合、周辺が住宅地なので、周りの方への配慮等も必要であろうということ。高さの規制がある地域なので、地下や半地下も検討してもよいのではないかな。</p> <p>学校の面積は 7,500 m²ですが、先ほど言った少人数など教室の多様化に対応したスペースとして十分なのか、今後検証が必要ではないかな。</p> <p>校舎ができることは分かったが、校庭の面積・校庭環境の確保がこれからのポイントになるであろうということ。それと関連して、高井戸中学校などでは敷地面積が 3,000 m²以上広い点も整備する条件になっているのではないかな。それから、駐輪場等のスペースも必要。</p> <p>静かな図書館というところで、静かさが必要と言う一方、先ほどの委員の方の話にもありました、コミュニティーの場でもあるので、これからの図書館は静かさだけではないのではないかなという意見がありました。</p> <p>裏面のほうです。</p> <p>学校と図書館の複合化のメリットをもう少し、見学等を通じて明確にしたいとの意見。</p> <p>運用面は人が非常に重要なので、ハードと合わせて検討する必要があるのではないかな。</p> <p>子どもの視点から見て公共図書館は不可欠な存在で、複合化することのメリットに期待しているという意見。</p> <p>それから、図書館の跡地利用が決まっていないということであれば、図書館を現地で建て替えることも検討してもいいのではないかななどのご意見。</p> <p>その他、全体を通じて、改築中の校庭が使えるかどうか。部活動はどのようなかは学校選択においても重要なので、そういうところもケアしてほしい。</p> <p>それから人口減少、今後を見据えてスリム化も行政の課題であるというご意見を頂きました。</p> <p>続いて資料 2「第 3 回懇談会の主な意見」は、今、基本計画策定支援事業者からご紹介を頂いたので、ここでは割愛したいと思います。</p> <p>資料 3 については、済美教育センターからご説明さしあげます。</p>
<p>済美教育センター統括指導主事</p>	<p>それでは、私から資料 3「学校・図書館複合化により期待される教育効果等について」、ご説明いたします。</p> <p>先日の施設見学でも委員の皆様からその場で様々のご感想を頂き、皆様感じているところだと思いますので、本日はこうした資料を作成、準備</p>

しました。

一番左側に学校、そして生徒、学校司書、教職員、その右側に地域、区立図書館があり、その区立図書館には図書館ネットワークというものがあって、都立図書館や国立の国会図書館につながっているといた大まかな図になっています。

左上の部分は、複合化によって得られる教育効果、子どもたちにとってはというところ、ここが一番のベースになると思います。

1点目として「広く・深い探求のためや興味関心のある分野の蔵書活用」とございます。どうしても学校図書館は授業で活用される学習用の図書資料を優先して購入いたします。そのため、読書のための新しい図書は予算的に十分購入できるわけではありません。

ここにも「広く・深い探求」とあります。たくさんの範囲の中から様々な書籍を選んで、探究活動を行っていますので、そうした中で地域図書館を活用できるのは、とても大きな教育効果だと考えています。

また、区立図書館の図書館司書からのレファレンスが生徒の2点目にございます。こちらは学校司書、そして教職員全てにとって、この区立図書館の図書館司書からのレファレンスは教育効果があると考えています。

冒頭に申し上げました、地域図書館と右側の図書館ネットワークを区立図書館の図書館司書が活用することで、本当に広い、大きな範囲から様々な書籍を提供、検索してもらえるのは大きな効果につながるものと考えます。

また、生徒たちにとっては3点目の作品展示、高井戸図書館にも高井戸中の生徒の作品が展示されていて、あと中学校では職場体験を行っています。こちらでも区立の図書館の中で職場体験をさせてもらうとか、子どもたちが社会を経験することの窓口に区立図書館がなるのではないかと考えられます。

また、大人向け講演会は敷居が高いものですが、図書館司書と関係ができていたりとか、図書館の職員とつながりがあることで、こうした講演会に中学生が参加したり、生涯学習施設の活用、学校の施設だけではなく公共の施設を中学生が活用することで、マナーの意識を醸成し、自分たちの「居場所」、どうしても中学生や高校生になると、部活動がない時間をどう過ごすかというときに、子どもたちが図書館をうまく活用しながら、「居場所」としても生かしていけるのではないかと考えています。

	<p>上から2番目、学校司書にとっては、自校図書館の不足分野の補完、また最新情報など蔵書を活用することが可能になります。それは自校の選書の参考にもなり、地域図書館と共通イベントを企画・運営できると、外の情報をうまく活用しながら学校図書館を運営していける効果もあると考えます。</p> <p>3番目、学校の教職員。レファレンスは先ほど申し上げたとおりですが、豊富な蔵書の活用。教職員も当然学びが必要なので、自分のための学びにもなり、併せて子どもたちに様々な書籍を提供できるのは非常に大きなことだと考えています。また、教職員以外の職員や区立図書館職員など第三者から見守り、連携しながら子どもたちを社会教育の分野からも見守っていける効果があると考えています。</p> <p>一番下、地域図書館、公立の図書館、区立図書館にとって、中学生の図書館利用の促進、また学校との連携も促進することができると考えています。併せて、中学生の図書館活動への参加による区立図書館のサービス向上や、中高生世代へのサービスのモデルとなる取組を考えているのではないかと。</p> <p>中学生は3年間しか時間はありませんが、この時期に公共図書館の利用に親しみやすい環境をつくることで、将来的にも公共図書館の利用者となる可能性が高いのではないかと。生涯学習の点からも非常に有効であると考えています。</p> <p>私からは以上です。</p>
進行役	<p>今日のメインは、この後の次第4「複合化について」と次第5「配置計画スタディ」になると思います。できればそちらの方でまとめて、様々なご意見をいただければと思いますが、今、この次第1から次第3までのところ、主に前回までの報告や、今の段階での効果等についての話がありました。ここままで何かご質問、ご意見等があればよろしくお願ひいたします。後でまとめてでよろしければ、そちらの方に回したいと思ひいます。いかがですか。</p>
委員	<p>学校と図書館の関係についてお話を頂き、それはとても大事なことで、学校から見ても子どもたちの学習にとってもいいのですが、現在学校と図書館が一緒ではなくても、図書館にお願いすると読書のための本を準備して届けてくださるとか、職場体験学習で図書館を体験するとか、協力関係はいろいろな形でできています。</p> <p>その積み上げがこれから期待されるかなと思ひてお話を聞きましたが、先ほどの報告にもあつた浮間中学校や高井戸中学校と比べると、本</p>

	<p>校の校地は非常に狭いので、そのことは後でお話ししますが、先ほどの浮間図書館の場合では、学校図書館とある意味一体化された感じですが。</p> <p>ただ、子どもたちが昼休みしか図書館には行けない。それから図書委員が自由に活動できないという現状があったということ。ただ、杉並区との違いは、杉並区が図書館に力を入れてくださっているのは、これまでの流れから存じ上げています。</p> <p>高井戸中学校の図書館との関係を見ても、浮間図書館は約 600 ㎡と小さいです。宮前図書館は 2,000 近くありますよね、1,900 ぐらいですか。高井戸中学校の高井戸図書館も 1,600 ㎡ですから、あれだけ広い校地があってもいろいろな施設を造ると図書館も狭くなります。</p> <p>そういうことで、私たちとしては、本当に入り切るのかということ。後で話をしようと思いますが、これからの学校では特別支援が必要な子どもたちのための丁寧な対応などが求められますので、個別の部屋を少し多く造ってもらって、場合によってはそこにリモートで見られるような設備を整えると、学校教員が足りないので、そういう子どもの対応ができるので、そのことも含めて、これからのインクルーシブ的な教育を進めるための学校施設や、ユニバーサルデザインの学校施設などを今日の話の後半で言うと思いますが、ただ、その前に報告の、図書館がもうちょっと広くてもいいとか、あるいは子どもたちの図書委員の活動なども、特別活動の視点から見ても必要だと思いました。</p>
進行役	<p>今は意見ですので、後でまとめてお話をいただければと思います。</p> <p>ほかによろしいですか。では、先に進めて、後でまとめてということをお願いしたいと思います。</p> <p>続きまして、次第 4 「複合化等について」。ご説明をお願いいたします。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>皆さん、こんにちは、政策経営部施設マネジメント担当課長の最上と申します。本日はよろしくお願いたします。資料の説明に入る前に、区立施設の再編整備を取り巻く最近の状況についてご説明します。</p> <p>皆様のお手元に既に届いていると思いますが、「広報すぎなみ」の 12 月 1 日号を先日発行しました。この中で、7 月に岸本区長が就任され、それを踏まえて区長の公約でもいち早く実現するものについて、昨年度区では様々な計画をつくりましたが、この公約を踏まえて一部修正を行っています。</p> <p>その一部修正した計画案について区民の皆様のご意見を頂く、私どもはパブリックコメントと呼んでいます、現在それを 12 月 1 日から、</p>

年明けの1月4日まで行っています。その中で、今日もお話しする区立施設の再編整備計画も一部修正案をお出ししています。

その背景としましては、再編整備は学校の改築だけではなく様々な区立施設が対象となっていますが、その中で特に児童館やゆうゆう館の再編については、この間区民の皆様からも非常に多くの声を頂いていることと、区長の公約などを踏まえまして、昨年度作った計画の中で、児童館やゆうゆう館の再編は、原則として一旦この取組を立ち止まる。休止する。ただ、その取組の中では、既に建設工事が始まっているとか、行政需要としてどうしても対応していかなくてはいけない、例えば児童相談所を整備する取組に関連していたり、そういったものについては一部計画どおり進めるといった、振り分けの修正をしています。

その中で、西宮中学校と宮前図書館の改築は、老朽化をしている施設についてしっかりと対応していく必要があるというところで、計画どおりに進めています。現在、区ではそういう状況であることをお話しいたします。

また、児童館、ゆうゆう館等の再編については、これまでの取組を検証して、成果があったのか、課題は何なのかをこれから整理して、改めてこのまま進めるのか、違う形でやっていくのか。そういう新たな方針を、今後決定する形になっています。そういう状況にあることを、まず冒頭でご紹介させていただきます。

それでは、資料の説明に入ります。本日、資料4ということで、当日配付した資料がありますが、事前に参考資料2として「施設再編整備の必要性について」というA4判横の資料があります。最初だけ、簡単にご紹介します。

区立施設の再編整備ですが、区立施設をめぐる現在の状況ということで、上段に建物が老朽化していることや、時代とともにニーズが変化している中で、後ほどご説明する社会保障費の増加などによって、施設に使える予算にどうしても限りがあるので、何らかの対策が必要になっている状況でございます。

そういった手法の1つが施設再編整備で、本日ご説明する複合化・多機能化や施設の長寿命化、今までは30～40年使っていれば、その後は建て替えてということでしたが、できるだけ長く、使える施設は使っていこうということで、80年を目指す取組や民間活力の導入ということで民間事業者のアイデアもこれまで以上に生かして、よりよいサービスを展開する取組を進めることにより、必要な施設サービスを将来にわた

り提供して、次の世代によりよいまちを引継ぐという取組が、再編整備の取組です。

それ以降は、施設の老朽化や区民ニーズの変化、限られた財源での施設整備について補足で資料を用意していますので、後ほど御覧いただければと思います。

この要素も含めて資料4ということで、本日改めて複合化について区で進めている背景や、今回の西宮中学校と宮前図書館の複合化について。また、この間ご意見を頂いている、例えば複合化した場合、図書館の跡地がどういう形になるのかといった点について、本日ご説明させていただければと思います。

それでは資料4、まず背景として施設の老朽化の状況を改めて簡単に触れさせていただければと思います。

公共施設の老朽化問題は皆様もお聞きになったことはあると思いますが、決して杉並区だけの問題ではなく、全国的な課題でございます。

区立施設については、全体で約85.9万㎡、東京ドームおよそ18個分と申し上げても想像がつかないと思いますが、非常に多くの建物を抱えている。その多くが昭和30年代から40年代にかけて建築されたもので、築30年以上となる施設が全体の約6割。改築の検討が必要になる築50年以上の施設が約3割に上る状況で、区立施設全体の老朽化が進んでいます。

円グラフの横に棒グラフが出ていますが、これは築年別の延床面積の積算で、このうち緑色の棒グラフは学校施設で、グラフの下に築年数が入っていて非常に分かりにくいのですが、昭和30年代から40年代にかけて緑色の棒グラフが集中しています。これがいわゆる学校で、区立施設全体が老朽化していますが、特に学校の老朽化が逼迫した課題となっています。

下段は区の人口推移や人口構造の変化ですが、これは財政面の影響で、1つのポイントとなるのが、区の収入はご存じのとおり皆さんが納めている税収です。これが、今後の見込みとして増えていくことは難しいだろうという状況。一方、区の歳出、使っていく予算については社会保障関連経費、高齢者や障害者を支える経費が非常に増加しています。

このグラフが何を示しているかということですが、上段のグラフは区の人口推移で、令和42年まで推計しています。全国的にも人口減少が進むと言われていて、杉並区でも推計上は減少していきだろうと言われています。

特に 64 歳以下、この棒グラフで言うと黄色と青の部分ですが、こちらの数が減少する一方、ピンク色の部分、65 歳以上の方が増加する見込み、まさに少子高齢化、人口減少の局面を今後迎えていくということです。

下段のグラフは、年齢・区分別の構成・割合を示しています。一般的に生産年齢人口と言いますが、労働力の中心となる黄色以下の世代がパーセンテージとしても減少する一方、高齢者人口の割合が高まる。約 40 年後の令和 42 年には区民の方の約 3 割、4 人に 1 人以上が 60 歳以上の高齢者人口となる見込みです。

こうしたことが、区の財政面にどういう影響を与えるのか。働く世代の生産年齢人口の減少を考慮すると、先ほど申し上げたように、今後税収が伸び続けることは期待できない状況です。一方、今後の高齢化の一層の進展を踏まえると、先ほど申し上げた社会保障関連費がさらに増えるだろう。

こうした状況を踏まえると、先ほど見ていただいた改築時期がピークを迎えようとしている中、建物の改築や改修はどうしても大きな経費がかかりますが、税収の大幅な増加が見込まれない限られた財源では、施設の更新に使うことができる予算はどうしても限られてきます。

今施設の改築・改修には大きな予算・経費がかかると申し上げましたが、どれくらいの経費が必要になるのかという点についてです。

区では、今後必要となる建物の改築・改修の経費を試算しました。今後 40 年間という長いスパンで見ると、約 4,840 億円。年平均で割ると、約 121 億円かかるだろうと。

これがどういう数字なのかは難しいところではありますが、過去 10 年間の改築・改修経費の平均額が約 76 億円で、今後はその 1.5 倍が必要になる。そうすると、この金額は非常に大きなものとして捉えざるを得ないと考えています。

また、改築時期を迎える築 50 年以上の施設が、先ほど申し上げたとおり約 3 割というように、試算グラフについても直近 10 年程度、左側ではありますが、ここに高い山が集中していて、今後およそ 10 年程度で、改築・改修のピークを迎える状況になっています。

このように施設が次々と更新時期を迎える中、限られた財源で老朽化への対応を図るためには、単にこれまでの施設をそのまま改築するのではなく、これまで以上に施設を有効活用するとともに、規模の適正化や効率的な改築手法の実施など、再編整備の取組を進める必要があると考

えています。その取組の大きなポイントが、施設の複合化や多機能化です。

次ページの下段からは、今申し上げた複合化について、いわゆる複合化のメリットを、一般的な例を用いながらご説明します。

施設の複合化には、部屋を共有することで効率的に施設を活用できるという点があります。この例では学校と公民館を複合化した場合、表に示すとおり学校の教室について例えば3時間目・4時間目を使わないときに公民館として活用するなど、有効活用するケースなどがあります。

視察に訪れた北区の浮間中では、武道場を授業で使わない際には、ティーンズセンターという児童館のほうが、未就学児を対象としたイベントや講座をするという有効活用をしている事例もございます。

次に、複合施設になると複合施設ならではのサービスが提供できる側面もあります。今回のように地域図書館と学校図書館を複合化した場合、先ほど学校からご説明申し上げましたが、学校図書館に置いていない資料も生徒さんが活用しやすくなることや、複合化することで、図書館が単独施設であったなら使うことができなかつた部屋を、事業やイベントなど活動の幅が広がる可能性もあるものと考えています。

次に複合化の効果の3つ目ですが、複合化によって多様な人が集まり、つながりの促進が見込まれるということが考えられます。世代や団体ごとにそれぞれの施設を別に整備した場合、高齢者や乳幼児専用施設よりも、複合化して整備した場合、世代を問わない様々な方が複合施設に集まるので、これを起点に新たな交流が生まれ、つながりを育む効果なども期待できると考えています。

4点目として、複合化により生まれた土地を有効活用して、新たな行政需要や老朽化施設の改築に活用できる点があります。これは、施設の再編整備において非常に重要な点だと考えています。

例えば、何らかの新たな行政課題が発生した際に、どうしても新しく施設を整備する必要がある場合、そのためには建物を建てることのできる土地を確保することが必要です。しかしながら、杉並区は住宅都市ということもあって、そもそも用地が出てこない。あるいは、新しい土地が出てきたとしても非常に高額であることから、区が新たに土地を確保することは、正直に申し上げて非常に難しいところがございます。

こうしたとき、図にあるとおり施設を複合化することによって、用地を生み出して対応していくことが考えられます。

また、新たな施設の整備のほかにも、保育園など休園できない施設を

老朽化によって改築する場合には仮設園舎を整備しなくてはなりません、そのため用地が必要になるとか、移転する場合でも、移転する用地が必要になることがありますので、こうした場合にも、複合化した後の用地を活用することはできるのではないかと考えています。

下段は複合化することのメリットの5点目として、トイレや通路など、いわゆる共用部分を一緒に使うことによって、施設整備費や維持管理経費を削減・抑制することができる点があります。

図に示したとおり図書館と公民館を複合化した場合、トイレや出入口、受付窓口などを共用することによって、施設のスリム化を図ることができます。この施設のスリム化は建築費、建物を建てる時のお金を削減するだけでなく光熱水費や清掃費など、維持管理経費の抑制にもつながることが期待できます。

しかも、施設に係るコストは、大きく分けて建物を建てる時の、いわゆる初期費用であるインシャルコストと呼ばれるものと、維持管理をするために必要な経費であるランニングコストという2つに分けることができますが、施設の整備から解体までにかかるインシャルコストとランニングコストを合計した、ライフサイクルコストと申しますが、この中を見ると、全体の7～8割がランニングコストなので、維持管理経費を抑制する目線は大事な視点だと考えています。

このように、施設の複合化は施設規模の適正化や老朽化の問題に対応しながら、一方でサービスの維持向上を図ることができるため、区としては大変重要な取組であると考えています。

学校施設における複合化はこうした点を踏まえて、区においては老朽化した学校の改築の考え方についてまとめた学校施設整備計画の中で、学校施設が今後目指すべき姿として、地域コミュニティの核となる開かれた学校づくりを掲げています。その中で、学校教育以外の施設整備も考慮し、他施設との複合化、多機能化にも取り組むこととしております。

こうした点を踏まえ、区立施設全体の計画である再編整備計画においては計画の基本方針の1つとして、複合化・多機能化の推進を掲げ、特に区立施設の延床面積の約半分を占める、地域にとって最大の公共施設である学校施設における取組が重要であると考えていることから、学校改築の検討に当たっては周辺施設との複合化を基本として、地域コミュニティの核となる学校づくりを目指しています。

これに基づいて、昨年度策定した再編整備計画では、この西宮中のほ

か天沼中学校の改築に当たっても、複合化の可能性について検討することとしています。今後も学校の改築に当たっては、まず複合化の可能性について検討するのが現在の区の考え方です。

ここからは、西宮中学校における複合化の検討についてご説明いたします。10 ページ、地図のページをお開きください。

西宮中学校の改築の検討に当たっては、先ほど申し上げた複合化・多機能化の推進という再編整備の基本方針を踏まえて、中学校周辺の公共施設の状況を改めて確認いたしました。北側に大宮前保育園、すぐ隣にある宮前児童館、宮前図書館がある中で、学校教育との相乗効果、複合化した場合の用地の跡地活用などの観点から、築 50 年を迎えた宮前図書館との複合化について検討を行うこととしました。

なお、宮前図書館は現在さざんかステップアップ教室、こちらの資料では「適応指導教室」という表記をしていますが、区として移転先を検討したいと考えています。

下段、西宮中学校と宮前図書館を複合化した場合の効果です。学校や図書館における教育効果は先ほど担当が説明したとおりです。私からは公共施設マネジメントということで、区立施設全体を見た観点から申し上げますと、後ほどご説明する図書館の跡地活用の視点や、移転改築となるので休館期間がなく、図書サービスを維持しながら改築できること。

仮に休館期間が生じる場合、蔵書等を一時的に別な場所に保管する必要があります。昨中央図書館が大規模改修をしたときに休館期間を設けましたが、このときも一時的に蔵書を別の場所に保管し、大体 5,000 万円程度かかりました。そうした経費を削減できるなど、改築経費の抑制という視点からも有効な取組であると考えております。

今申し上げた点について補足します。

施設の共用によるサービスの維持ですが、図書館利用者が多くなる土日祝日、夏休みなど学校の長期休業期間中は、学校図書館のスペースを活用することで、図書館の単独施設のときよりも閲覧席を増やすことなどができるのではないかと考えています。

また、宮前図書館の読書室の実績を見ると、日曜日の午後の時間帯が約 80～90%の稼働率で一番高いので、こうしたときに学校図書館のスペースを有効活用することなどが考えられます。

また、学校と連携・協力することによって、学校が使わない時間帯において学校のスペース、開いている教室などを有効活用したイベントや授業の実施という可能性もあるのではないかと考えています。

次に跡地の有効活用ですが、複合化のメリットでご説明したとおり、複合化することにより図書館の跡地が生み出されます。この用地を活用することで、地域のニーズに即した新たな施設の整備や、周辺施設の老朽化対応などの仮設用地として活用することができる。

中学校と図書館という老朽化した施設の改築だけにとどまらず、この地域全体の公共施設の課題の解決につなげることが見込まれるのではないかと考えています。

下段に参りまして、ここからは、跡地活用について簡単にご説明したいと思います。仮に複合化できた場合、宮前図書館の跡地は地域の皆さんが利用する施設を整備したいと考えています。

こちらの地域は区立施設がもともと少ないこともありますが、集会施設が少ないので、地域の皆さんが活用できる集会施設を整備する。あるいは地域の皆様の身近な憩いの場所となる公園を整備する、老朽化施設の改築に活用することなどが考えられます。いずれにいたしましても、地域の皆様のご意見を聞きながら、今後検討してまいりたいと思っています。

今、1つの例示としてご案内した集会施設について少し補足します。この間区では、施設再編整備の取組の中で、乳幼児から高齢者まで、世代を超えて交流・つながりが生まれる新しい地域コミュニティー施設として「コミュニティーふらっと」という施設を整備してまいりました。

この施設は会議等ができる集会室だけではなく、予約なしで誰でも使うことができるラウンジなどを設け、ちょっとした打合せや読書、勉強、散歩をしたときの休憩に使うなど、様々な形でご利用いただいています。このほかにも、軽い運動ができる多目的室なども設けており、ダンスやヨガ等にも活用されています。

加えてコミュニティーふらっとでは、従来の区民センターや区民集会所とは異なり、単にこうした部屋を貸すだけではなく、運営事業者が講座・サロンの実施や、多世代交流イベントの開催などを行い、地域コミュニティーの活性化につなげています。

現在、コミュニティーふらっとは都内で5か所整備されていますが、1つの跡地活用、集会施設となると、こうした施設が考えられます。

下段には、そのコミュニティーふらっとの写真がございます。上2枚はコミュニティーふらっとの永福や成田のラウンジで、このように窓際に設けることによって勉強や読書などに活用できる機能は、図書館の読書室の機能の補完などにも考えられます。

	<p>右下にある多目的室は、記載のとおり卓球やダンス、ヨガなどの軽い運動を行うことができます。</p> <p>最後のページは公園の例で、現在宮前図書館の周辺には西宮公園、昭和48年に開園した約500㎡の公園ですが、図書館の用地は約1,700㎡あることから、新たに公園を整備することも考えられます。また、図書館の敷地を分割して、集会施設と公園を両方整備することなども考えられます。</p> <p>このほか用地の活用としては、一旦仮設の用地として、近隣の大宮前保育園が築57年を迎えているので、これを改築するときの仮設園舎として活用することなども考えられます。保育園の改築には、どうしても仮設用地を確保することが必要となってくるので、この用地は貴重であると考えています。</p> <p>以上申し上げたのはあくまでも例示で、もし跡地活用を検討する際には、地域の皆様のご意見をお聞きしながら検討したいと考えています。</p> <p>以上、これまでご説明したとおり、今後の少子高齢化や人口減少社会を迎える中で、公共施設の老朽化問題に対応するために、施設の再編整備という取組が必要となると考えています。西宮中学校と宮前図書館の複合化は単に改築を効率的に行うという視点だけではなく、複合化による教育の効果や跡地活用など、地域の皆様全体にとって総合的に検討した結果、最も適した取組ではないかと考えていることから、今回計画化させていただきました。</p> <p>この点について私からご説明させていただきました。長々とお時間を頂き、ありがとうございます。</p>
進行役	<p>それでは、今ご説明いただきました次第4「複合化について」、ご意見・ご質問等があれば挙手をよろしくお願いします。</p>
委員	<p>複合化について経済的な面からの必要性、目的もよく理解できました。その上での意見ですが、今世界的に見ても、日本の教育水準はずっと落ちている傾向にあります。それは大問題で、人を育てていく意味では、基本的に学校教育を充実させることが第一だと思います。</p> <p>今、杉並区は保育園がいっぱい建っていますが、若い人たちを受入れる文化施設がすごく少ないのです。宮前図書館が幼児や乳幼児の、図書もそうですが、お母さんたちの活動などに有効に使われています。それから、高齢化で私を含めた年代が仕事を終えた後、宮前図書館に通っていろいろな蔵書を借りています。しかも、さざんか学級もある。昔は、宮前出張所があって集会施設ということで、地域の活動にも部屋を借り</p>

	<p>られました。</p> <p>そういうことを考えると、土地が広ければ両方は可能だと思いますが、西宮中学校の敷地面積を考えると、むしろこの土地にしっかりと、公立中学校の設備としての充実を図っていただきたい。プールをなくすとかそういう考えではなく、きちんとした教育施設を造ることが大事で、学校の図書館を充実させることも大事だと思います。</p> <p>先ほど教育センターから、複合化することで中学生が普通の図書を利用できるとの話がありましたが、中学生だけではなく乳幼児、幼児、老人も含めて利用できる施設が大事です。この地域には、ほとんど文化施設はありません。</p> <p>先ほどの、跡地に集会施設という提案もすばらしいと思いますが、図書館と集会施設を複合施設として造るほうがずっと効率的だと思います。そこに中学生も集えれば距離的にも近く、もちろん跡地として更地にしておいて、ほかのところが利用することもあるかもしれませんが、この地域としてはあそこを複合施設として捉えていただいて、集会所と図書館の充実を考えていただいたほうが私はうれしいです。</p> <p>しかも、中学校は中学校の教育施設をもう少し充実させて、地域に開かれて、子どもたちが利用できないときは集会所として利用できるように、教育施設として充実していれば運用面でできることなので、建物として考えたときには、そういうお金の使い方をしていただければ、私は大変うれしく思います。</p>
進行役	<p>(事務局に対して)</p> <p>ここで1つ1つ回答されますか。それとも、まとめたの方がよろしいですか。ご意見だけをいただくということでもよろしいですか。</p> <p>(ご意見だけいただき、回答はまとめてということなので)</p> <p>では、お願いします。</p>
委員	<p>今伺ったお話で、学校施設を改築しなければいけない。特に中学校は昭和22年に一斉にできたので、その後いろいろな校舎を借りて勉強して、木造校舎が耐えられないということで鉄筋に変わったのは高度経済成長の後で、予算的にも多かった。多くの学校で造っていただいたというのが、この表で分かりました。そのとおりだとは思いますが、こういう状況なのでもう少し長い目で、計画的に改築を進められればよかったです。</p> <p>23校の中学校、2つは小学校と一緒にありますが、その施設を3分の2くらいに合併しようという計画もありましたが、それがうまく</p>

	<p>いかなかったとか、いろいろな積上げがあつて現状があるので、その辺を長期に見て考えてほしいということ、子どもたちの人数はそう多くは減りません。今の説明でも9～10%、もちろん区の人口が減っていますので3,000人くらいは減りますが、12の学年で割ると200～300人の減少になるという状況で、中学校23校で分けるとほんのちょっとか、あるいは日本では地方の過疎が進んで、東京に住もうという人たちも割合いるので、その辺の計画は大変だと思いますが、それは直接関係ありません。</p> <p>もう1つどうしてもお話ししたかった、前もお話しした保育園や幼稚園、学校は子どもの命を預かっているところですから、何と一緒にするのかはとても大事で、先ほど何でも一緒に、公民館など公共的なものを考えているのは分かりますが、高井戸図書館と高井戸中学校の場合入口が違って、通路が2つ入っています。さっきトイレも一緒にしていいという話がありましたが、その辺も慎重に考えてほしい。</p> <p>大阪教育大附属池田小学校の事件後、杉並区は門をきちんと施錠するとか、予算をかけて警備員を配置した歴史もあるので、その辺は考えているとは思いますが、もう少し明確にしてほしい。学校は子どもの安全が第一なので、そのことは特に考えていただければと思います。</p>
進行役	<p>人口推移のこともそうですが、子どもの安全を考えてどのようにしていくのか、慎重に考えてほしいということです。</p> <p>まとめてということですので、ほかにありますか。</p>
委員	<p>複合化・多機能化推進は説得力のある内容で、こういう理想的なものができて、運営できる地域になれば本当に素晴らしいと感じます。確かに多世代交流は基本の考え方で、私もふらっと成田の運営をしていますので日々感じています。</p> <p>ただ、これは全部本当に理想。ここにある土地を考えたとき、例えばこの土地が本当に倍あつて、隣の児童館、へたしたらあそこの図書館までずっと、私たちの宮前地域であったとすると、それらの複合化ができて、この地域全ての区民が集える場所づくり、地域力があるので、そこでの協力は、皆さん地域でさせていただけると思います。</p> <p>なので、本当に理想的なもの、これが現実に建てることができれば地域の区民がみんな協力して、みんなが多世代を交流しながら活性化する気持ちは多々あります。</p> <p>今回こういう話があつたとき、皆さん忙しい中時間を作って話をしていますが、これらの理想的な建物が現実に西宮中学校の敷地内でできる</p>

	<p>のか具体的に持っていかないと、あくまでも理想論をずっとうたって、伺うと確かにそのとおりです。私たちもそういう施設は欲しい。でも、ここに建てられますかということと常に現実的なことを照らし合わせながら、一步ずつ進めることがすごく重要なことだと思います。</p> <p>いろいろなことを欲張れば、広い敷地の中で広いものが必要ということではあるけれども、それをスリム化することも重要です。そこにかかる私たち杉並区民、結構税金が高いと思いつながら生活しているので、その税金を有効に使っていただきたいと思うので、その税金に関しても、当然スリム化させる。</p> <p>せっかく建てた建物を利用しないのでは税金の無駄遣いとなることを考えたときに、スリム化は今の世の中では当たり前のことなので、そういう建物を望むところですが、それらいろいろなものをそぎ落として、この地区は何が一番欲しいのかと思ったとき、本当にこの土地でそれが可能なのか。いろいろな理想を聞けば聞くほどそういう疑問が湧いてくるので、複合化や多様化はとても大切ですが、常にそこと背中合わせで、具体的な話をさせていただいたほうが、着実に有効な時間になると思います。</p> <p>先ほどコミュニティふらっとの話が出たので、私はそこの運営をしているのでお話ししますが、昨日の午後はラウンジに40人近く、夕方にかけていろいろな世代が来ていました。杉二小の子どもたちが10人ぐらい、受験勉強をしたい学生が2～3人、高齢者も集会室を使った後、ここでいろいろな打合せをしたいと言って10人ぐらい残る、地域の幼児を持ったパパが、今日は時間が空いているからと言ってふらっと寄るくらい、それも1年近くかかってやっと認知されて活用できている状況です。昨日の様子は本当にほほ笑ましいなど。これが私たちの目指す多世代交流の場所。</p> <p>はっきり言って簡単な運営ではありません。そこに人を呼ぶための、毎日の日々いろいろな努力を地域に認知しながらやっている次第ですが、もしそれらをここに造ったとしたら、そういうものが必要になるという部分、その人材育成も必要になるだろう。</p> <p>それらも全部踏まえながら、地域の力を借りて、それらを1つずつ組立てながら、やっていただけることがとても必要なことかと思っています。</p>
進行役	<p>これが一番本質的な話だと思います。理想はみんないいのではないかと思っているけれども、具体的にそれが実現するのかという投げかけで</p>

	<p>す。後でお答えください。</p> <p>図書館側はいかがですか。</p>
委員	<p>この西宮中学における図書館との複合化の効果、学校側のメリットは現実的にあまりなさそうです。と言うか、今までとそんなに変わらないのではないかと。</p> <p>複合化して、とてもよくなることもなさそうな感じで、図書館にしても、複合化に当たって宮前図書館の規模が小さくなります。</p> <p>それよりは複合化をやめて西宮中で余裕のある改築をされたほうが、これから中学校の教育も多面的になると思います。その設備を考えると、この間の北区の中学校も、あれだけの広さを持って、あれだけの設備を持っていて、図書館はすごく小さかった。あれを考えると、西宮中のこの狭さであれができるかと言うと、とてもできません。</p> <p>この改築の検討の広さを見ていると、高二小のほうがずっと広く、ここに図書館を入れたほうがよかったと思いながら、これを見ていました。</p> <p>これから先のことを考えると、複合化ではなく中学校独自の改築のほうがいいのではないかと。メリットがなくなり、図書館の改築のメリットもない。コミュニティふらっとのような場所が、あの広さでは取れません。</p> <p>この予定では、宮前図書館は高井戸図書館と同じ広さです。そうすると、あそこにはフラットな場所が多目的ホールが1つあるだけ。あそこで勉強や一般利用をしなければいけない。でも、そういうことになると時間が限られてしまう。</p> <p>今までの宮前図書館のよさが、学習室もなく、調べ室もないということになると、造ったはいいが、とても残念な建物になると思います。</p>
進行役	<p>1つ前の話と同じように、敷地とその中に入れる質の問題だと思いますので、お考えください。</p>
委員	<p>複合化に至るまでのいろいろな経緯を丁寧にお話しいただき、ありがとうございました。</p> <p>私もいろいろな部分で重なることはありますが、学校と図書館の複合化により期待される教育効果に関して、図書館に悪いことがあるわけではないと思うので、あえてこれを述べなくても、複合化でなくても今の西宮の読書活動、学校図書館のことを考えると、私も複合化でよくなるとは感じられない。</p> <p>ただレファレンスに関して、この間高井戸中学校の先生もおっしゃ</p>

っていた、すぐにレファレンスが得られて、授業中に本を持ってきてもらえるというのはあるのは近くていいところですが、これからDX化が進むと、いろいろなところと連携する。私が授業でよく行く荒川区では、公共図書館の人が必ず小学校に来て、連携がものすごくよく取れていると感じます。そういうシステムが公共図書館と学校できている。こういうことも進んでいくと、そんなに近くなくてもやっていけることは、きっとたくさんあるだろう。

あと中学校生活では図書館は非常に大事ですが、それだけではなく、子どもたちはほぼ1年間学校で過ごすにはスポーツも必要で、いろいろな活動をする中で、これ以上校庭が狭くなるとか、いつかは少子化になるから、いろいろなものをスリム化しよう。それまで子どもたちは我慢してくれというのは違う話で、基本的には中学生ファースト、西宮ファーストだと思います。子どもたちがどういう生活ができるかをまず考えて、ここは我慢してねというのは絶対あってはいけないと思います。

だからと言って、複合化は絶対に駄目かと言うと、その中でこの敷地が取れて、こういうことができるというものがあるなら、先ほど委員の方の資料で、北ヨーロッパやオランダの話では、これからは蔵書がたくさんあるのがいい図書館ではなく、子どもたちの知識を具現化するために、自主自立で活動に向けて3Dプリンタや自分たちでTシャツを作れる工房など、得た知識を活動できる場所、それは区民も一緒に活動できる、工房的な図書館のスペースというのは非常に未来型で、ほかにもないというところのものが、小さなスペースでもできるのではないかな。

蔵書に関しては、跡地を利用する。それから宮前図書館では、公共図書館の利用につなげるという意味で、私も10年間、子どもたちに夏休みのワークショップをしています。今までは高二や松庵の子どもたちが多かったのですが、今年に関しては馬橋など杉並区のあちこちから子どもたちが集まるようになって、読書活動やワークショップを楽しみにしています。

学校の複合化について、中学生の公共図書館の利用が盛んになることにつながると言いますが、杉並区は全国で最初にブックスタートを始めた地域ですから、中学生に限らず、そこからスタートして読書活動や図書館につなげるのを俯瞰で考えるべきではないかと思うので、中学生から公共図書館の利用云々という話は違う気もしています。

	<p>さざんかネットに関しても、図書館と一緒にいいのではない か。どこか適正な移転先を考えるのではなく、図書館と一緒にあるか ら、さざんかネットが子どもたちにとっていい活動の場になっている のではないかと思っているので、もう少し足を運んでどのように運営 されているのか、利用する人たち、子どもたちの視点で考えていただ ければ、よりよいものになるのではないかと思います。</p>
進行役	<p>今の話では、複合化でなくてもいいことが多いので、もし複合化する なら、それなりのことをご提案いただきたいということだと思いま した。</p>
委員	<p>先に資料として送っていただいた社会保障費の増加、扶助費という言 葉を初めて知って、それがこれからずっと増える時代になるというこ とを勉強しました。</p> <p>ただ、私としては最初から言っているように、宮前図書館は今の場所 で、狭くなってもいいからほかの施設と複合化して、あの地で育まれて きた 50 年の歴史を継承していきたい。それは再三言っていますが、11 月 1 日に 50 年を迎えた宮前図書館に、区民の皆さんが寄せた 99 枚の メッセージをファイル化したものを読みましたが、世代を超えて、2 世 代、3 世代と、宮前図書館に通っている方々の感謝の気持ちがいっぱい あふれていました。これを諦めることは私にはできない。</p> <p>むしろ、さっき委員の方がおっしゃったコミュニティふらっとのよう な、出会いや知を想像する場所を宮前図書館と一体になってできればと いう理想に近づきたいと思っています。</p> <p>あと、この複合化にどうしても納得できないのは、中学校の敷地がこ んなに狭いのに、杉並区の地域図書館で一番大きい宮前を、何とか入る からとおっしゃいますが、これは私が昨日インターネットで検索した、 平成 26 年に教育委員会が出した老朽改築計画があって、ここに全中学 校の面積、校舎面積、体育館面積が書かれています。それを見ると、西 宮の敷地は 1 万 808 です。</p> <p>今、中瀬中学で改築が進んでいますが、中瀬中学を見ると西宮よりち よっと広いぐらいで、生徒数も西宮より多い。だけれども、中瀬中学で は複合化案はなく進んでいます。</p> <p>もっとさかのぼると平成 22 年に松溪中学が、高齢者のデイサービス を複合化しました。すごく早い段階で学校の敷地を活用したのですが、 松溪中学の敷地は 1 万 4,223 ㎡ありました。この 1,000 ちよっとのと ころにこんなに無理をして入れようとするのは、よほど社会保障費が迫</p>

	<p>ってくるものがあるのだなと思いました。</p> <p>けれども私は、それだからと言って改築時期が近い施設を一緒にするのは、この複合化が適正かどうか、みんなと考えていかないと杉並の学校教育はよくなりません。むしろ、図書館は生涯にわたって使えるものですから、生涯教育をする場を駄目にする可能性もあります。それを今、いろいろな視点を持って考えています。</p> <p>質問です。ランニングコストが非常に高くつくことを承知しましたが、もし西宮中に、図書館と中学を別館で建てるのであれば、それぞれにランニングコストがかかるのではないのでしょうか。そこが節約になるとは思えません。</p>
進行役	<p>最後にコストの話が出ましたので、そこもお答えいただければ。</p>
委員	<p>私から、以前事務局にもこういう資料を用意すればいいのではないかという提案をしましたが、今皆さんの意見を伺って、改めて確認したいと思います。</p> <p>こういう検討をする場合には様々な視点からの比較を、さっき言ったコストは非常に大きいかなど。本音ベースとしてはコストを削減するのは大きいのではないかと思います。インシヤルコストやランニングコストがどれだけ、合築の場合とそれぞれで建て替えた場合で変わるのか。それを数値的に出す必要があると思います。</p> <p>跡地の活用となると、跡地を売却するとか、官民連携でより収益性の高い施設にする場合は収入が入りますので、その分コストを抑えられると思いますが、ここに新たな公共施設を造るとなると、今おっしゃったようにそちらでも費用がかかりますので、合築をしても跡地をどう使うかによっては、それほどコスト減にはならない可能性がある。そこを含めてある程度シミュレーションしながら、コスト的にこういうケースではどのくらいのコスト削減になるのかというエビデンスを出す必要があると思います。</p> <p>それから機能面は非常に重要な問題で、ソフト面では図書館と学校が連携するメリットはかなりあると思いますが、一方でそれは合築されていなくても、離れていてもソフト的にいろいろな連携ができるのではないかとの話もありました。</p> <p>最近リモート会議で、私も現地に行かなくていろいろなことをやっていますが、DXの進展とか、いろいろなサテライト化によって、物理的に複合化する必要があるのかも含めて、機能的なメリットとデメリット、それから敷地が狭くなりますので、図書館と学校の機能がどれだけ</p>

改善するのか、逆によくなくなるのかということも、もう少し細かなエビデンスが必要。次の資料でその辺をシミュレーションされているようですが、そこは必要だと思います。

考え方としては、図書館は図書館として造っておいて、むしろ図書館の新しい部分、生涯学習の支援や創造的な空間みたいなもののエクステンションを、小学校や中学校に切り離して持って行くという考えもあると思うので、そういうことも含めた機能面からの検証が必要になる。

3つ目はセキュリティ。これは合築することによってゾーニングが必要になるので、きちんと分けられればセキュリティは守れますが、そこがうまくいかないと、セキュリティの面でいろいろな問題が出てくる。利用時間も違うということで、その検証も必要になると思います。

4つ目はプロセスとといいますか、10年後、20年後、30年後、場合によっては50年後を考えたとき、建物の寿命は、今までは大体50年でしたが、今は100年とといいますか、かなりの長寿命化を想定しているので、将来的に施設がどうなるか。

例えば学校が少子化で子どもの数が減って空き教室が増えた場合、複合化していると、もしかすると複合化施設にそちらの空間を移動することによって効率的に利用できることもあるかもしれませんが、その場合、どういう施設と複合化しているほうがより効率的なのか。フレキシブルに使えるかという視点もあると思いますが、将来的な視点での検証も必要になる。

その場合、図書館と学校が一緒になったとき、図書館が空き教室を吸収しながら拡張するのが現実的なのか。もしくは、図書館という建物はそういうものではないということかもしれません。

最後の大きな問題は、敷地の問題だと思います。非常に狭い敷地の中で、2つの施設をどう造るのか。これは現状の敷地をどうするのかということだけではなく、前回私もサジェスションしたように地下を活用するとか、場合によっては、難しいかもしれませんが敷地自身を拡張する。茨城で私がやったときには、シミュレーションするとどうしても学校の敷地が足りないということで、裏の農地を全部買収して、1.5倍くらいの敷地にして建てたこともありました。ここでは難しいと思いますが、そういう敷地の拡張や地下空間の活用など、場合によっては法的な制度を見直して、かなり高い建物を造れるようにするとか、それは近隣への影響もあるのでハードルは高いと思いますが、そういうことも含めた、いわゆる検証とといいますか、きちんとデータを示して皆さんにいかがで

	<p>しょうかと、これだけコストがかかりますということが必要になると思います。</p> <p>もう1つの前提としては、先ほど来も出ているように、パターンとして現状は学校の敷地と図書館の敷地がありますが、ここにB案というか、今の案としては学校と図書館を造って、跡地にコミュニティー施設を造る。場合によっては保育園みたいな機能も入るのかもしれませんが、もしくは学校にコミュニティー機能を入れる場合もあって、そうすると図書館の敷地に保育などの施設があるパターンもあると思いますし、図書館とコミュニティー施設を現状の敷地に建てて、学校は学校で少し拡張するというパターンもあると思いますので、本来学校と図書館を組み合わせる前提であればそこを検証した上で、学校と図書館の組み合わせが最も理想的だというエビデンスを示した上で議論するのがいいと思っています。</p> <p>これは私も、今進めている佐倉や松戸の図書館に関わっていますが、それもある程度そういうシミュレーションした上でやっているのでも、本来であれば、その検証も必要になる。学校・図書館ありきではなくそこを、なぜこのパターンが最もいいのかということ、エビデンスとして出すことが大事だと思います。</p>
進行役	<p>コスト、機能、敷地、セキュリティー、将来へのプロセス、どういう組み合わせがいいのか、様々なことでもう少しエビデンスを検証して、示すべきではないのかというご意見でした。</p>
委員	<p>資料の中で、今後10年間改築ラッシュになる中で、限られた財源で建て替えを行うということで、複合化の方向性についてはよく理解いたしました。</p> <p>ただ、全体としてその方向性に間違いはないと思いますが、この杉並区で、西宮中学と宮前図書館における現実の、個別の状況は違うのかなということで、私はどちらかと言うと、第1回の会議でも申し上げましたが、複合化には否定的な考えを持っています。</p> <p>理由は大きく2点あって、1点は前回もお話ししましたが娘が5年生で、幼児の頃から宮前図書館を利用して、しょっちゅう通って、もちろん本もたくさん借りて親しんでいます。夏休みの自由研究ではいろいろと調べて、同じ年代の子どもが宿題をしています。保護者の代表として来ているから言いますが、私どもの松庵小学校では、そういう利用で非常にありがたい施設という声が多いです。前回の議事録も一部資料を添付して、紙ファイルではなく無料アプリで配信すると、そういう意</p>

	<p>見をP T Aの役員会向けに保護者の方から頂戴しています。</p> <p>それから、第1回でも申し上げましたが、乳幼児のお母さんたちが子育ての悩み相談をしています。特にコロナ禍が3年くらい続いて、孤独感もあるのでしょうか、コミュニケーションの場になっているのを拝見しています。また、シニアや大勢の方が足を運ばれて、ある種既に理想形に近づいている印象を持っています。地域に根差していて、むしろほかの地域の方が目指すというか、こういうのがいいという図書館に既になりつつあるのではないかと思います。</p> <p>それを崩してしまうのかと。非常にもったいない。乳幼児やお母さん、小学生や中学生、高校生、壮年、シニアの方、既にみんなの居場所になっているので、それを壊してしまうのはどうなのかというのが1点です。</p> <p>もう1点は、高井戸中学と比較しても狭い西宮中学の敷地に、ゆとりのある宮前図書館を、狭いところに広いものを入れて押し込めてしまうのが現実的なのか。どこか削らなければならない部分が出てくるのではないか。</p> <p>そういった意味では先ほど委員の方がおっしゃった、どちらかという図書館機能を維持しながら、プラスアルファで集会室みたいなものを充実させるほうが、現実的な方向性ではないかと考えます。中学は中学でスペースを、校庭を少し広く取るなどをやったほうが良いと思いました。</p>
進行役	<p>時間も過ぎておりますので一旦収めさせていただいて、ここでご回答をいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>いろいろとありがとうございました。様々なご意見を頂いて、私どもも感じ入るところはあります。</p> <p>冒頭、施設マネジメントからもご説明しましたとおり、今日は広めの話から入って、1回目の懇談会で、西宮中学校と宮前図書館の複合化を視野にという説明を、今日はメインでさせていただきました。</p> <p>それは、西宮・宮前地区から話を大きくしなければご理解いただけないかなと思って、今日は将来的な人口推計や、これから公共施設の老朽化に係る経費の問題なども含めて、今ある施設をそのまま建て替えることの持続可能性があるかないかということのご説明、これは何も宮前地域だけではなく、これから学校施設や区立施設を建て替えるところでは、どこの地域でもしなければいけない話だと思います。</p> <p>その上で、今度はよりユニークな話ですが、この西宮中と宮前図書館</p>

に関してどうなのかということ考えると、特に宮前図書館の今のキャパシティーをそのまま持つてくるのは難しいと思っていますが、図書館の機能をなるべく落とすことなく、今後図書館に求められるサービスができる限り崩すことなく、どういう形で新しい図書館をイメージできるか。もちろん、これには図書館の大きさの問題もあります。そういったことを、もう少し皆さんにご提案できるといいなと思うのが1つ。

今度は学校のほう。先ほど委員の方からあったように、新しい教育課題に対応できる施設の在り方には応えていかなければいけないと思うものの、この間、今後10～20年先の、この地域の児童・生徒の推移などを教育委員会を出していますので、その推計に基づいた、新しい中学校に必要なキャパシティーを、もう一度再計算する必要があると思っています。

これからお金が厳しい中、できれば我々だって余裕のある建物を建てたいです。それが難しいこともぜひご理解いただいた上で、この宮前地域にこれだけの施設が必要だというものを、私どもは厳しい中でも皆さんにイメージできる形で新しく、例えば複合施設にするとこういう形になるというものを、より具体的に見せて、委員の方の言うエビデンスをお示した上で、ご意見を頂く必要があるかなと。

今日は本当に、こういった問題がある。ある意味漠然とした問題提起の中で議論をしていただいているので、それでは心配だよという声が出るのは当たり前ですよ。その声にどう答えていけるのか、我々としてもぜひ示す必要がある。

それは実際に引かれた、こういう形でどうかという内容で示すのもそうだし、先ほど委員の方からあったように、具体的なイニシャルコストやランニングコストはお金の関係でこのぐらい違うとか機能の問題、あとは何と言ってもセキュリティです。そういうことを含めて、もう少し具体的に提案して、いかがでしょうかということは当然示したいと思っています。

今日どうしても皆さんにお示ししたかったのは、先ほど施設マネジメントの課長からも説明があったように、大きな課題の中で、1つ1つの施設の在りようを考えなければいけない。これは宮前地域だけではありません。そのことだけのご理解いただいた上で、ぜひ様々なご意見を頂きたいと思います。

私からは以上です。各論は、図書館の館長やマネジメントの課長から答えてもらいたいと思います。

<p>企画課施設マネジメント担当課長</p>	<p>皆様、様々なご意見を頂きありがとうございます。こうした生のご意見を頂けるとするのは、非常に貴重な場だと思っています。</p> <p>公共施設の老朽化問題は、日々の暮らしでは自分事になりにくい問題で、いかに皆様にご理解いただきながら取組を進めるかというのが大きな課題だと思います。今日こうした、お話しさせていただく場をご用意いただいただけでも、非常にありがたかったと思っています。</p> <p>皆様から頂いたご意見はまさにごもっともなところかと思っています。本日は、これ以上の資料をご用意できていないので、部長からもありましたが、コストのシミュレーションなどについて現段階でお示しできるものを研究して、ご提示したいと思っています。</p> <p>例えば、ここの用地と図書館の用地を考えると、どういう施設の組合せができるのかについて、この間私どももシミュレーションをしています。今おっしゃっていただいたように、西宮中は単独で改築し、図書館の用地では図書館だけのパターン、あるいは図書館とコミュニティふらっとのパターンなど、様々な検討をしてまいりました。そういったところを、それぞれのメリットやデメリット、実現可能性などを含めて分かりやすくお示しする必要があると思いますので、次回はそうしたものもお示ししたいと思っています。</p> <p>概括的に申し上げますと、図書館の今の用地に図書館と集会施設、コミュニティふらっとを整備する場合がありますが、今の図書館の用地が約1,900㎡ありますが、建物を建てることのできるのが、図書館が建築された当時と法規制も変わって、少し小さくなりました。最大1,600㎡ぐらいしか建てられないと思います。</p> <p>これも、規模感をどうするのかということには様々な議論がありますが、本日例示としてお示ししたコミュニティふらっとについて申し上げますと、大体平均で500～800㎡で造っています。集会室を2～3部屋、ラウンジ、多目的室を設けると、大体それぐらいの大きさになる。</p> <p>それを図書館の敷地にはめると、図書館が1,000ぐらいでコミュニティふらっとが500～600になった。そのときに図書館としての機能が十分果たせるだろうか、いろいろな議論をしてきました。</p> <p>そのために図書館が現地改築となると、建物を一旦壊して、それから建てるということになると、私どものシミュレーションでは3年ぐらいかかる。その場合3年間、この地域に図書館がない状態になる。それも1つの課題となると思っています。</p> <p>跡地の活用という面では、周辺の他の施設を申し上げますと保育園の改</p>
------------------------	--

	<p>築がございます。区立保育園の大宮前保育園は築 57 年で、こちらを改築するには、保育園は休園ということができないので、別な場所に仮設園舎を建てて造り直す。そのとき、現在この周辺にほかの用地がない状況がある。</p> <p>そうしたときに、宮前図書館の用地が使えないと、あの保育園が改築できなくなる。そういうことが起きてしまっているのだからかなどを検討しまして、そうしたものを分かりやすく皆様にご提示して共有し、議論を深めてまいりたいと思っています。</p> <p>また、学校の複合化について、安全面や教育が第一ということはそのとおりで、私どもの計画には、教育環境を確保した上でと書いていますが、まさにその視点でございます。その点も含めてこの用地でできるのか、先ほど部長からもありましたがもう少しリアルに示すことによって、本当に実現可能性があるのかという議論を、今後深めていければと思っています。</p> <p>本日頂いたご意見を踏まえて、次回またご説明できるように準備をしておきたいと思っております。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>中央図書館館長</p>	<p>今日の意見を聞いていまして、宮前図書館は本当に地域から愛されている図書館だと改めて思いました。</p> <p>今、仮に移転したとしても、図書館では宮前図書館の機能はしっかり維持していこうと思っています。</p> <p>1 つには、ハード的な面で言うと、宮前図書館の他にない図書館機能は読書室です。どの図書館にも勉強スペースはあります。机と椅子はありますが、あの大きなものは、高円寺図書館にあるくらいで、あとはないので、そこについては宮前図書館の機能の大きな魅力の 1 つだと思います。</p> <p>ただ、利用のスペース等は、試験期間中はすごく混みますが、それ以外、平日の午前中などは利用が、いつもここに来る前に見に行っていますが、今日行くと臨時休館でお休みでしたが、あの面積ほどないので、どれだけのスペースが必要なのか。</p> <p>日曜の午後は、もしかしたら学校の会議室などを公開すれば、日曜が一番人が来るところなので、もちろんセキュリティーなどに十分配慮した上で、もし使えるならそこを公開すれば、もう少しスペースをスリム化しても大丈夫ではないかとの考えもあると思っています。</p> <p>あとは、図書館を担うのは地域のボランティアの方の力は大きいと思</p>

	<p>います。その機能は必ず継承する。もちろん、運営などを一緒にやってきたと思いますが、宮前図書館スピリットといいますか、仮に移転したとしても、その辺は継承しようと思っています。</p> <p>最後に面積ですが、改めて見ると宮前図書館は地上3階、地下1階です。地下1階は機械室なので、機能的にはほとんど何もないところですが、その面積も入って1,900という大きさなので、今後どれだけの面積が必要なのかということになると、機械室などを除くと現状1,500ぐらいだと思いますので、それを踏まえて、宮前の今の機能を継承していく中で地域の図書館としてできるのか、今後皆様にお示ししたいと考えています。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>もう4時になりますので、まだ意見等あると思いますが、次回に向けて様々なものをご用意いただけるとのお約束をいただきましたので、それで一旦置かせていただいて、次の配置計画スタディも関わってくると思いますので、ご説明をしていただければと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いいたします。</p>
委員	<p>一言だけいいですか。先ほど企画課施設マネジメント担当課長が言われた、保育園を造るために空き地が必要だとの話ですが、そのために図書館を複合したいという発想があるとすれば、私は本末転倒だと感じました。それだけです。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>次第5につきましては、時間の関係もあります。先ほど来頂いている、複合化したときに入るのかどうかというシミュレーションを進めており、途中経過として基本計画策定支援事業者から説明していただく予定でしたが、時間の都合もありますので、今回頂いたご意見、宿題も踏まえて、次回もう少し精査したものを出したいと思っています。</p> <p>先ほど部長からお話がありましたが、中学校の改築の規模、これからの生徒たちの数の推計なども含めてしっかりやっていく必要があると思います。複合化する、しないに関わらず西宮中の改築は築61年で待ったなしというところもございますので、その辺りも含めて、配置やグラウンドがどれだけ取れるのかというシミュレーションなども次回お示しできればと思います。</p> <p>今回は時間の都合もございまして、説明は難しいと思います。今回は割愛ということで、次回に回したいと思います。よろしく申し上げます。</p>
進行役	<p>様々なこと、まだご発言したいこともあると思いますが、時間が迫っており、この後ご用がある方もいると伺っていますので、今日のことは</p>

	<p>事務局にしっかり受け止めていただいて、次回具体的な、様々なことをお示しいただくことを期待して、一旦終わりにしたいと思います。</p> <p>それでは閉会の前に委員の方、もう一度よろしく願いいたします。コメントをいただきます。</p>
委員	<p>先ほど私から意見を申し上げたように、きちんとした評価ができるコスト面・機能面も含めたエビデンスを出していただきたいことと、先ほど最上課長から説明があつて、いろいろな事情が分かりましたが、その辺差し支えない範囲で、なぜこういう複合化に至ったのか、既に過去に検証されているということであれば、いろいろなシミュレーションの中で保育園の問題や、敷地の既存不適格の問題で、どうしてもコミュニティー施設と図書館の合築は面積的に現状では難しいという、その辺も含めた経緯というか、こういうパターンがある、このパターンは難しいというような、その辺のエビデンスを頂ければいいかなと思います。</p> <p>それから、最後に出てきた資料で大体のパターンは分かりますが、基本的には図書館と校舎の面積は、掛け算するとできると思いますので、想定される床面積は表示していただきたいのと、私が以前検証したときに日影規制などがあつて難しい面があると思いましたが、実際に建築できる部分の面積は 9,500 m²で、これは単純に今の学校の面積 6,000 m²と図書館 2,000 m²、単純に足すと 8,000 m²なので、学校の機能と図書館の機能を拡張しても、仮に 9,500 まで持っていけるのであれば、かなり充実したものができると思いますが、本当にここまで行けるのかということも含めて、その辺をもう少し詳細に、むしろ 9,000 m²ぐらいで行くと、現状を足したよりも 1,000 m²ぐらい大きくということであれば、学校機能も拡張できる可能性もあるので、その辺を含めたもう少し詳細な資料を頂ければ、より検討できるかなと思います。</p>
	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局から事務連絡をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>長い間ご意見を頂きまして、ありがとうございました。</p> <p>毎回のことですが、本日の会議録はこれまでと同様、まとめ次第お送りしますので、内容をご確認いただければと思います。</p> <p>次回ですが、年明けの 1 月 19 日木曜日、午前 10 時からを予定しています。正式な開催通知等を別途お送りしますので、よろしく願いいたします。事務連絡は以上です。</p>
進行役	<p>それでは、最後に先ほどもお話をいただきましたけれども中村部長、よろしく願いいたします。</p>

<p>学校整備担当 部長</p>	<p>長時間にわたり、ちょうど今2時間になります。ありがとうございました。</p> <p>1回目の懇談会で、ぜひ西宮中・宮前図書館は夢だけではなく、課題も共有してほしいと申し上げました。この間、様々な課題についてもお話をしたつもりですが、委員の方の言葉を借りれば、課題を共有するためのエビデンスが足りなかったとっていて、今日はかなり出したと思いましたが、まだ足りないなど。</p> <p>これでは不安が先に出てしまいますね。そういった意味では、皆様からこういったことが不安だと、こういうアイデアはどうかということが出ているので、その辺を踏まえて我々としても、1つの選択肢として応えられるといいなと思っています。</p> <p>もう一度申し上げたいのは、区全体の課題というか状況というか、宮前だけではない、置かれたミッションを広め、深め、厚めに話をさせていただきましたので、そこはぜひご理解いただきたい。</p> <p>その上でどういう案があるか、より具体的に、正月明けの懇談会でお示ししたいと思っています。ありがとうございました。</p>
<p>進行役</p>	<p>どうもありがとうございました。ぜひ来年がいい年になることを期待していますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これで閉会します。</p>